

平成29年度 生坂中学校グランドデザイン

学校教育目標

豊かな心を養い、粘り強く自分を鍛えて、自ら学ぶ生徒

学校長の願い

- 適切な判断力と確かな実践力の育成と向上
- 思いやりと切磋琢磨、学び合い・高め合う集団づくり
- 地域に学び、地域から学び、地域に貢献する学校

本年度の重点目標

- 重点1 友と関わり、高められた考えを活用することができる。
- 重点2 互いに認め合い、支え合い最後まで粘り強く取り組むことができる。

【めざす生徒の姿】

- 自分の考えを表現できる生徒
- 相手の考え・立場を尊重できる生徒
- 村を大切に、村に誇りをもてる生徒

学校生活

【学習指導】

◇全校研究テーマ

「つながりから高まる授業づくり」

～高まりを実感し、次の学びへのつながり！～

- 「教材」「仲間」「自分の学び」の3つの関わりを大切に授業
- 個の気づき・疑問や考え等の発表と意見交換を中核に据えた授業
- 基礎基本の定着と応用力の伸長を図る家庭学習
- 特別支援教育の充実 ⇒ 個の実態に応じた教育課程と学習支援

【日常生活の高まり】 ～時と場にあった言動、相手意識～

- 気持ちのよいあいさつと応答
- 伸びやかで豊かな歌声
- 気づき磨き上げる清掃
- 内面を育てる全校読書

【学級活動】

○お互いの立場や考えを尊重し、認め合い、高め合い、生徒一人ひとりが所属感・安心感・充実感をもてる学級づくり

○個と集団の成長を目指す、年間活動計画等の作成と実践

【生徒会活動】

○確かな計画、活発な意見交換、着実な実践による、成就感や達成感、協調や連帯感等の育成

スローガン『結笑』（けっしょう）

【部活動】 ※全員参加

○「心・技・体」のバランスのとれた豊かな人間形成

地域と歩む教育活動

【総合的な学習の時間】

～地域に学び、地域から学び、地域へ発信する活動～

- 全校選択制による縦割り集団での活動〈龍翔太鼓、表現〉
- 学年の中核活動としての郷土学習
しいたけ栽培（1年） 巨峰栽培（2年） 福祉学習（3年）
- 3年間を見通したキャリア教育
勤労体験学習（1年） 職場体験学習、職業・高校調べ（2年）
高校調べ、高校体験学習、進路講話（3年）

【体力の向上】

○村、PTA、松本大学と進める体力づくり
（体力測定、講演会・講習会、大学生の体育授業への参加等）

【ボランティア活動】

- 全校奉仕作業
- ふれあい花壇作業（小学生と一緒に）
- 親子作業
- 読み聞かせ（保育園、小学校へ出前）

【安全・安心】

- 防災・避難訓練
- 救命救急法講習会
- 交通安全教室

小中の連携

- 学校行事・生徒会活動を通じた小中の交流
- 中学校教員の出前授業と中学校での体験授業、児童理解
- 小中の教員の合同研修・学校保健委員会等の実施

教師の姿勢

○元気で、明るく、同僚性のある職場

- ・生徒に寄り添い、全職員が一丸となった丁寧な支援や指導
- ・人権感覚を磨き、人権意識に基づいた支援や指導
- ・学校評価を活かした指導
- ・学び続ける職員、相互に高めあう職員集団

家庭・地域との連携

☆保護者・家庭、地域との信頼関係を基盤にした、

『教育・共育・協育』

- 授業参観、部活動参観、文化祭、地域行事への積極的な参加等による学校教育活動の地域公開
- PTA活動の充実、地域講師活用等による学校支援・学校応援